2016年5月27日

北九州市長　北橋 健治　様

病院局長　古川 義彦　様

市議会議長　戸町 武弘　様

村野藤吾の八幡図書館の解体を止める緊急署名・実行委員会

代　表：三輪　俊和（北九州市立大学名誉教授）

事務局：八幡市民会館と八幡図書館の存続問題を考える会

〒番号805-0059 北九州市八幡東区尾倉3-3-22

問合せ：090-6297-9009（加来）090-9563-3815（三浦）

「村野藤吾の八幡図書館」外壁について【要望書】

　本日、「村野藤吾の八幡図書館の解体を止める緊急署名」を提出いたしました。４月２９日に始めたものですが、一ヶ月足らずの期間に３，９６３筆という多くの声が寄せられています。解体を止めたいという声がいかに大きなものであるのかを、ご理解いただき、お受け止めください。

　また、本日、病院局長様、議長様との面談を通して、私たちの思いや願いに向き合っていただき、意見を交流できたことに希望を感じています。限られた面談時間の中で十分にお伝えできなかった下記の内容を、改めて「要望書」として申し述べます。

記

要望事項

1. ５月３１日に開始が予定されている「外壁レンガ取外し」を、一旦中止してください。

・東郷和彦氏の「公開質問状」にあるとおり、工事現場の出入り口を多少移動するだけで、

工事は進められます。工事のために急いで解体してしまうのではなく、立ち止まって、知

恵を出し合いたいと願っています。

　　・「村野藤吾と近代遺産のまち・八幡たてもの応援団」からの提案にあるとおり、大いに活用できる案があります。世界産業遺産・八幡製鐵所とつながる「ストーリーゆたかな観光資源」です。

1. 止むを得ず解体する場合は、外壁レンガをすべて残して保管してください。

・復元するべきとの声が高まり、その必要性が認められる可能性を秘めている将来に備えて

ください。今回の解体決定は、「引き返すことが絶対にない」と断定できるものではありま

せん。市政の柔軟性・状況対応力を発揮してください。

1. 解体して外壁レンガを保管しない場合は、市民に譲り渡してください。

　　・市民有志で外壁レンガを保管し、将来の復元に備える方策を取ることができるよう、可能な限りの検討をおこないます。

以上